

## 在宅介護対応住宅工事計画書

- ・ ——欄のみ記入して下さい。「計画」は貴方の計画している仕様です。該当する項目の欄に 印をつけて提出して下さい。すでに 印がつけてあるところは、必須項目となります。

3ポイント 2ポイント なし 1ポイント

工事区分	仕様項目	仕様項目の詳細内容	重要度	該当項目に 印		ポイント
				計画	実施	
1 玄関	玄関が広い	下足箱を除くタタキ部分150cm以上×150cm以上				計画 / 8 実施 / 8
	玄関戸が引戸又は軽い開き戸である					
	玄関戸の幅が広い	有効幅80cm以上				4 / 8 以上
	玄関に手すりがある					
	床がすべりにくい					
2 廊下	廊下の幅が広い	有効幅90cm以上 (柱中心3尺5寸以上)				計画 / 8 実施 / 8
	床がすべりにくい					
	床に段差や壁等に突起がない	段差は廊下自体の段差をいう				2 / 8 以上
	廊下の壁に手すりがある					
	廊下に向かって開く戸がない	引戸又は内開き戸 (トイレを除く)				
	壁に足下灯が設置されている					
3 階段	勾配が緩やかである	踏面24cm以上 蹴上げ18cm以下				計画 / 9 実施 / 9
	手すりがついている	手すりはなるべく連続してつける				
	踏面にすべり止めがついている	すべり止めは踏面と異なる色のものとする				3 / 9 以上
	壁に足下灯が設置されている	足下灯は階段の上下2箇所についている				
	階段の途中に踊り場がある					
4 介護室	1階にある					計画 / 16 実施 / 16
	介護するのに十分な広さがある	8畳以上ある				
	トイレに隣接している	トイレが廊下を挟んで向かい側にある場合も含む				8 / 16 以上
	採光が良く風通しがよい	部屋に窓があるか縁側に接している				
	出入口に段差がない					
	緊急通報装置が設置されている					
	縁側、サンルーム、テラスのどれかがある	介護室に隣接していること				
	出入口の幅が広い	有効幅80cm以上				
	スイッチが押しやすい	ワイドタッチスイッチである				
足元が明るい	足下灯がついている					
5 台所・食堂	床がぬれてもすべりにくい					計画 / 6 実施 / 6
	床が廊下及び他の室と段差がない					
	ガス漏れ警報機がついている					3 / 6 以上
	水栓は水量・温度調節が簡単なもの	(例) サーモスタット付きシングルレバー式水栓				
	出入口の幅が広い	有効幅80cm以上				

工事区分	仕様項目	仕様項目の詳細内容	重要度	該当項目に印		ポイント
				計画	実施	
6 トイレ	介護に配慮した広さにしてある	有効幅120cm以上、奥行150cm以上				計画 / 9 実施 / 9 <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">4 / 9 以上</span>
	暖房便座付の洋式トイレとする		-			
	手すりがついている	L字型の手すりが好ましい	-			
	出入口に段差がない					
	床がぬれてもすべりにくい					
	出入口の戸は引戸か外開戸である					
	出入口の戸は外から開錠可能である		-			
	温水温風洗浄便器がついている					
	緊急通報装置が付いている					
	出入口の戸の幅が広い	有効幅80cm以上				
7 脱衣室・浴室	介護に配慮した広さにしてある	柱中心間口180cm以上、奥行180cm以上				計画 / 13 実施 / 13 <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">7 / 13 以上</span>
	浴槽の深さが浅めで半埋込式である	浴槽は和洋折衷式とする	-			
	手すりがついている	浴槽の出入りに便利な位置と洗い場に設置	-			
	浴室・脱衣室間の出入口の段差なし					
	床がすべりにくい					
	水栓は水量・温度調節が簡単なもの	(例) サーモスタット付シングルレバー式水栓				
	緊急通報装置が付いている					
	浴槽の縁に腰掛けスペースがある	腰掛けスペースの幅は30cm以上とする				
出入口の戸の幅が広い	有効幅80cm以上					
			合	計 画	/ (適格・不適格)	
			計	実 施	/ (適格・不適格)	

在宅介護対応住宅にするための理由

- 1 同居者を介護するため、  
具体的に { }
- 2 同居者の介護が将来必要となるため  
具体的に { }
- 3 将来、自分が高齢等により介護が必要になった場合でも、住み慣れた住居で自立しながら介護が受けられるようにするため。
- 4 その他  
具体的に { }

在宅介護対応住宅に係る工事内容は上記のとおりです。

借受人 所 属  
職・氏名 印

## 各部の仕様詳細説明書

該当工事箇所に をつけ、仕様を記入して下さい。

		計 画 し て い る 仕 様		
1 玄 関	玄関の広さ	cm × cm (下足箱を除くタタキ部分)		
	床 材			
2 廊 下	幅	cm	床 材	
3 階 段	勾 配	踏面	cm	蹴上げ cm
4 老 人 室	広 さ	畳 (畳換算：一畳 1.6562m <sup>2</sup> )		
	床 材		緊急通報装置	有・無
5 ト イ レ	広 さ	cm ×	cm	(柱中心寸法)
	床 材		緊急通報装置	有・無
6 脱 衣 室・ 浴 室	浴室の広さ	cm ×	cm	(柱中心寸法)
	脱衣室床材		浴室床材	
	緊急通報装置	有・無		
7 台所・食堂	床 材		ガス警報器	

上記の工事にかかる費用の見積もり金額は \_\_\_\_\_ 円です。

工事請負業者 住 所 〒

T e l ( )

会社名等

印